



さいたま市公民館ビジョン

～ にぎわいから学びをつかみ 地域とのつながりをはぐくむ場～



令和 3 年 3 月

さいたま市教育委員会

目次

第1章 「新しい時代」と「新たな学び」	p.1
1 新しい時代に求められること		
2 新しい時代の新たな学び		
第2章 さいたま市公民館ビジョン策定の目的	p.2
第3章 公民館が目指すもの	p.3
1 公民館の宣言		
2 公民館が目指す方向性		
第4章 ビジョンを実現するために	p.4
1 プロジェクトが掲げる3つの行動目標	p.4
2 プロジェクトの推進体制	p.5
3 各行動目標における具体的な方策例	p.6
資料編		
■ ビジョンの位置付け	p.9

第1章 「新しい時代」と「新たな学び」

1 新しい時代に求められること

AI（人工知能）やロボティクスなどの最先端技術が、産業や私たちの生活と直接結びつく Society5.0 の時代は、医療の進歩等により健康寿命も延び、生涯現役として全ての人が活躍する「人生 100 年時代」でもあります。

このような時代にあっては、仕事や生活に必要な知識や技能を必要な時に更新し、一人ひとりのライフステージに応じて仕事や家庭、社会貢献など様々な活動を組み合わせることで、多様なキャリアを実現する時代となります。それゆえ、自分の可能性を広げ、豊かで幸せな人生を送るためには、生涯にわたり学び続けることが、より重要となってきます。

2 新しい時代の新たな学び

今、社会が大きく変化し、ICT 等の新しい技術が学びの可能性を広げています。それに伴い、生涯の学びの姿も大きく変わろうとしており、生涯学習における「パラダイムシフト（※1）」が起きつつあります。

このような時代にあって、人々が日々の暮らしの中で生じる悩みごとや困りごとなどを解決し、豊かで幸せな人生を送るためには、学び直すことと、その学びを生かして行動することが連鎖する「学びと活動の循環」が一層重要になっていきます。

一方、オンラインによる学習や動画配信、Web 会議システムなどの活用で、時間的・空間的な制約を超えた学びや、個々の興味・関心に応じた個別最適化の学びが、働いている人や子育てをしている人、介護をしている人等の学びの欲求に応えてくれるはずです。また、ICT 等が進化する時代だからこそ、対面講座や体験活動など、人と人との交流、自然や本物との触れ合いがより重要になります。

こうしたことから、学びの伴走者である公民館には、学びと活動が循環する環境の一層の整備や、「オンライン」と「対面」とがベストミックスした学びを一層推進することが求められます。

※1 パラダイムシフト … 時代で当然と考えられていた認識、価値観等が劇的に変化すること。

第2章 さいたま市公民館ビジョン策定の目的

地域住民にとって最も身近な施設である公民館では、全ての人が生涯にわたって質の高い学びを続けられる環境と「人と人、人と地域、地域と地域」がつながるよう、地域の学びの拠点として学んだことや自らの経験を生かして活躍できる環境の充実に努めてきました。



今後は、人生100年時代の到来や Society5.0 など新しい時代に対応するため、公民館は社会の変化や課題を捉えた学習機会を提供する学びの拠点として、また、地域づくりの中核を担う拠点としての機能強化が求められています。

こうしたことから、公民館では、これからの時代を担う意義や役割を認識する必要があると考え、新たな学びの拠点として、新しい時代の公民館のあり方と中長期的な目標を明確にし、それを住民と共有するため、「さいたま市公民館ビジョン」を策定しました。

なお、本ビジョンは、令和3年3月策定の「さいたま市生涯学習ビジョン」を踏まえ策定しています。

第3章 公民館が目指すもの

1 公民館の宣言

地域の未来をあなたと

公民館は、地域住民と共に、これからの「地域の未来をつくる学びの拠点」となります。

2 公民館が目指す方向性

にぎわいから学びをつかみ 地域とのつながりをはぐくむ場

地域社会には、子どもからシニアまで幅広い年齢の方、外国人や障害のある方、子育て中の方など多様な人々が生活しています。

全ての人たちが、自らの個性を生かし、安心して幸せな生活を送るためには、相互に理解し合い、共生できる地域社会を創ることが大切です。

「地域の未来をつくる学びの拠点」として公民館は、新しい時代の新たな学びを導入し、あらゆるテーマの講座を実施するとともに、学習団体、サークルや地域の団体の活動に、地域住民が参加し学び合うことで、交流を深める場となります。

さらに、公民館は、地域住民が気軽に集うことで「にぎわい」を生み、多様な人々が魅力を感じる学習テーマから、自発的に学びを「つかむ」場となり、地域社会で困ったことがあれば、その課題を解決するために「学び合い、認め合い、支え合う」関係が自然に生まれるような「つながり」をはぐくむ場となります。

これらのことを実現するために、公民館は学びをプロジェクト化し、これからの地域づくりに寄与します。

第4章 ビジョンを実現するために

1 プロジェクトが掲げる3つの行動目標

「さいたま地域づくりプロジェクト」

公民館は、「地域の未来をつくる学びの拠点」として、人々に学びのきっかけをつくり、個人の成長を促す「人づくり」や、誰もが気軽に立ち寄ることができる場として「つながりづくり」の役割を担う必要があります。

加えて、近年の少子高齢化・核家族化や、ライフスタイルの変化等により、地域の連帯感が低下していることから、「人づくり」や「つながりづくり」により、地域を活性化し、地域住民が主体的に課題を発見し、解決して誰もが安心して暮らせる「地域づくり」を行えるよう、市民に寄り添いサポートするという役割も求められています。

このことから、公民館では、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を地域住民と共に進めるために、「さいたま地域づくりプロジェクト」として3つの行動目標を掲げ、全ての公民館が一丸となってプロジェクトを推進していきます。



「さいたま地域づくりプロジェクト」 が目指す3つの行動目標

- 1 人々の学びのきっかけをつくり、魅力あふれる様々な学びの場となります。(人づくり)
- 2 誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。(つながりづくり)
- 3 地域を共につくり、暮らしを助け、地域課題を解決する拠点となります。(地域づくり)

2 プロジェクトの推進体制

3つの行動目標の実践にあたり、公民館職員は日頃から本ビジョンに基づいた公民館の役割や機能を認識し、その地域が抱える課題を見つけ、何をすべきか自ら考え、地域住民とコミュニケーションを図る力や、学びと活動が循環するようコーディネートする力の向上に努めます。

さらに、社会教育の専門知識を有する社会教育主事が中心となり、市民が生涯にわたって質の高い学びを続け、学んだことを生かして活躍できる仕組みを整えるとともに、社会教育主事の助言のもと職員が各公民館の特色を生かした運営ができるよう体制を整えます。



3 各行動目標における具体的な方策例

1 人々の学びのきっかけをつくり、魅力あふれる様々な学びの場となります。(人づくり)

人づくりに向けた具体的な方策例

▶ 市民のニーズや社会の変化に対応した学びの提供

- 社会の変化に市民が対応していけるよう社会の要請や市民のニーズに対応しながら、あらゆる世代を対象に、様々な現代的課題をテーマとした事業を実施します。

▶ 高度で専門性を生かした学び直しの場の提供

- 各種公共・民間団体等と連携・協働し、それぞれの専門性を生かした質の高い学びの場や、リカレント教育など、学び直しの場を拡充します。

▶ オンライン化の促進による新たな学びの提供

- 対面型講座とオンライン型講座をベストミックスした講座や、いつでもどこでも何度でも学ぶことのできる「e公民館」を発信するなど、新たな学習方法を提供します。

▶ ICT技術を活用するための情報格差解消の支援

- ICTなどの新しい技術を活用し、市民生活がより快適になるようICTリテラシーの向上を図り、情報格差の解消を目指す学びの場を提供します。

▶ 誰もが使いやすく居心地の良い学びの場づくり

- 利用者の意見を取り入れながら、公民館が明るく、使いやすく、居心地の良い学びの場に生まれ変わるよう公民館の環境整備に努めます。

学びを通じて自分を磨き、人生を豊かにしましょう！

「さいたま市生涯学習ビジョン」より

2 誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。(つながりづくり)

つながりづくりに向けた具体的な方策例

▶ 学び、つながりを求める地域住民への情報提供

- 「学びたい」、「つながりたい」地域住民のニーズに応えるため、必要な情報を提供し、学習サークル等を通して楽しく学びを続けられるようサポートします。

▶ 学びで結ばれた仲間の活動成果を発表できる場づくり

- 学びで結ばれた仲間や学習サークル等が、活動成果の発表や交流を通して、つながりを深める場や多様な世代が集い、にぎわいから学びをつかむ場を提供します。

▶ 地域住民同士の新たな交流の場づくり

- 地域住民同士がコミュニケーションを図ることができる文化祭や講座などあらゆる事業を通し、住民同士の新たな交流の場を提供します。

▶ あらゆる世代が地域と交流できる場づくり

- 子どもから青少年・若者、シニアに至る多世代が、「地域の未来をつくる学びの拠点」として公民館を活用し、気軽に集い、交流することができるよう、魅力的な事業を実施します。

学びでつながる「学習コミュニティ」で、ネットワークをつくりましょう！

「さいたま市生涯学習ビジョン」より

3 地域を共につくり、暮らしを助け、地域課題を解決する拠点となります。（地域づくり）

地域づくりに向けた具体的な方策例

▶ 地域活性化・地域づくりの拠点としての役割強化

- 多様な世代の地域住民同士が共に学び合い、連携・協働することで学びを活動につなげるよう、近隣の学校や地域の公共・民間団体等とのパイプ役となります。

▶ 地域団体との交流や地域での活動の支援

- 地域団体等と連携・協働を推進するために、学んだ成果が暮らしを助け、社会貢献に結び付くよう、人や地域をつなぐコーディネートします。

▶ 地域住民による地域課題の解決

- 地域が抱える課題を可視化し、地域住民の興味や関心を把握しながら、その課題解決に向けた学びの機会をつくります。

▶ 安全・安心に向けた自発的行動のための学習支援

- 地域住民が、自他の命を守るため主体的に行動できるよう、防災等に関して必要な知識を得たり、リスクコミュニケーションを図ることができる学びの機会を提供します。

学んだことを、地域づくり、未来づくりに生かしましょう！

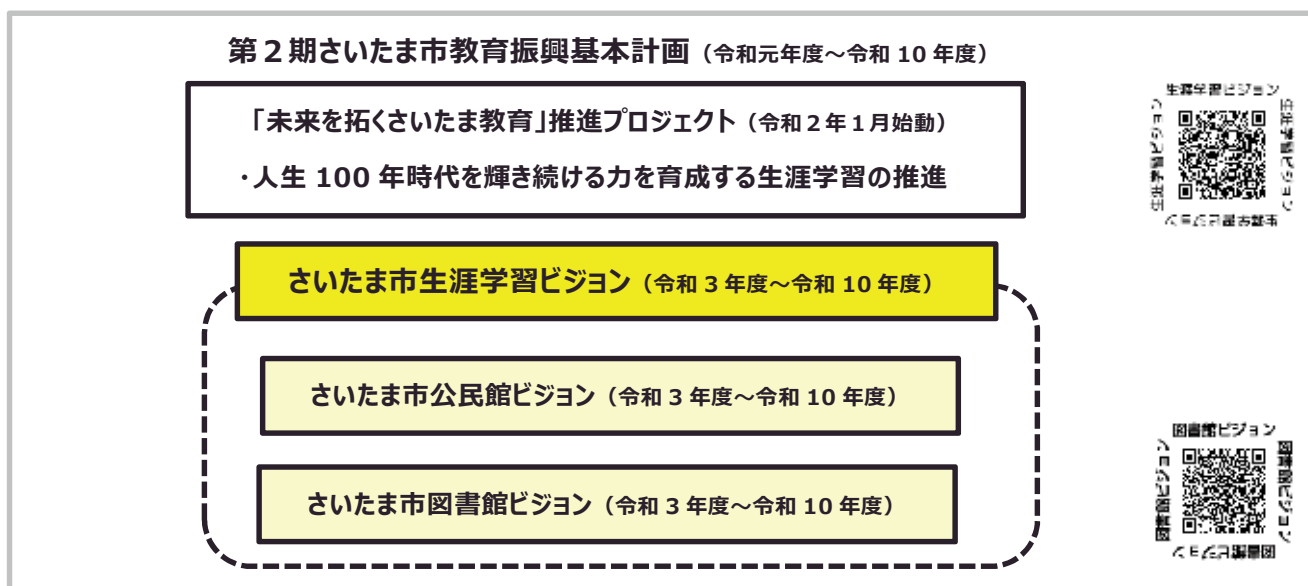
「さいたま市生涯学習ビジョン」より

資料編

■ ビジョンの位置付け



「さいたま市生涯学習ビジョン」を踏まえて策定された「さいたま市公民館ビジョン」「さいたま市図書館ビジョン」は、第2期さいたま市教育振興基本計画のもと始動した「『未来を拓くさいたま教育』推進プロジェクト」の一部となっています。



本ビジョンの対象期間は、第2期さいたま市教育振興基本計画の期間と同様に、令和10年度までとなっています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市の公民館、図書館、博物館、コミュニティセンター、体育施設などの生涯学習関連施設では、環境、健康、福祉、文化、人権、文化財など SDGs に関連する様々な取組を実施しています。

「さいたま市生涯学習ビジョン」「さいたま市公民館ビジョン」「さいたま市図書館ビジョン」では、SDGs の掲げる「誰一人取り残さない世界」と同じ方向性を見据え、持続可能な未来づくりに貢献していきます。

さいたま市公民館ビジョン

発行	さいたま市教育委員会
編集	さいたま市教育委員会 生涯学習総合センター 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ7階
電話	048-643-5651（直通）
FAX	048-648-1860
Eメール	shogai-gakushu-sogo@city.saitama.lg.jp

本冊子は300部発行し、1部あたりの印刷経費は216円です。
(表紙写真：善前公民館(南区))